

民間における 宇宙利用 2週間基礎コース

第8回受講生募集

日本の宇宙開発の発展にとって民間の宇宙利用拡大が不可欠となっていますが、衛星開発には巨額な費用がかかる上に、宇宙利用の人材不足がその拡大を妨げる障壁となってきました。その問題解決のため、コストの削減・スケジュール短縮を可能にする超小型衛星の開発が進められています。しかし、民間で超小型衛星やそのデータを有効に活用できる人材が不足しているのが現状です。そこで、**超小型衛星やそのデータの利用に関する基礎知識を有し、民間における人工衛星利用の潜在的ニーズを掘り起こすことができる人材の育成**を目指し、本プログラムが平成30年度よりスタートしました。下記の要領で第8回目の2週間基礎コースを実施します。

対象 人工衛星やデータを用いた宇宙利用に興味のある、学部生・大学院生。宇宙や人工衛星に関する知識、また**文系理系の別や専攻を問いません。講義・実習は日本語で行います。**

実施場所 オンライン講義および名古屋大学東山キャンパス

募集人数 20名
現地で行う実習は応募者多数の場合、抽選で決定します。

コース期間 2023年8月21日(月)から9月1日(金)
土日を除く10日間。

コース内容 座学による講義と、講義内容に基づく実践的な実習に分けられます。本コースで、宇宙開発・人工衛星利用の現状からプロジェクトの進め方まで学修することができます。

人工衛星の 民間利用で 世界を変える。

応募方法

【申請フォーム】 https://coso.isee.nagoya-u.ac.jp/sero/course_2308.html

【応募期限】 2023年7月14日(金) 午後5時まで。
ただし、オンライン講義・演習は8月11日(金)まで受付。

【問い合わせ】 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 飛翔体観測推進センター 宇宙開発利用推進室
E-mail: sero-contact@isee.nagoya-u.ac.jp

